

## 第2回湖西市部活動地域連携・地域移行推進協議会 概要

- 1 日 時 令和5年12月11日(月) 19時00分～20時35分
- 2 場 所 市民活動センター 2階大会議室
- 3 出席者 委員12名(学識経験者2名、保護者代表2名、地域代表6名、校長2名)  
※下記URLから、委員一覧が閲覧できます。  
事務局7名(教育次長、文化観光課長、スポーツ生涯学習課長、学校教育課長、  
学校教育課職員3名)  
傍聴者8名

### ○委員一覧

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/material/files/group/31/iin.pdf>

### 4 会長あいさつ

まず、アンケートを見た率直な簡単な感想だが、子供そして保護者、教員、様々な意見があった。現実的な意見や理想的な意見、建設的な意見等、様々な意見があがった。そこで大切にしたいのは、主役が子供たちだということ。子供が不利益を被るようでは、絶対いけない。子供を主体とした視点を持ち、改革できるものはして、現実的な解決策をこの委員会では提言をしていければと思う。

### 5 概 要

湖西市では、国のガイドラインや県の方針に基づき、学校部活動の地域連携・地域移行を進めるため、令和5年10月に児童生徒・保護者・教職員を対象にアンケートを実施した。本協議会では、そのアンケート結果について協議委員各々の立場から課題や考察を述べ、今後に必要なことは何かを確認した。

### 6 アンケート結果

下記URLから、アンケート結果が閲覧できます。

#### ○国や県の動向

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/material/files/group/31/doukou.pdf>

#### ○アンケート結果児童生徒

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/material/files/group/31/kodomo.pdf>

#### ○アンケート結果保護者

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/material/files/group/31/hogosya.pdf>

#### ○アンケート結果教職員

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/material/files/group/31/kyousyokuin.pdf>

### 7 協議における主な意見

#### (1) アンケート結果から部活動地域移行地域連携の課題について

- ・指導員の確保が課題ではないか。教員がボランティア同然で活動していた部分を担う指導員はなかなかいないのではないか。
- ・保護者は、送迎と活動経費について不安を抱いている。送迎と関連して、子供と保護者は活動場所がどこになるかも関心が高いと思う。

- ・部活動の地域移行地域連携は、課題が多すぎて何から手を付けて良いのか分からないのが正直な感想。課題をしぼりこんで、具体的な方針とスケジュールが決まってくると、企業側としても提案できることはあると思う。

## (2) 質問と回答

**Q：部活動の顧問はどのように決めているのか教えてほしい。**

A：教員から希望を聞いて、できる限り希望に沿った形で顧問をお願いしている。中には、希望に沿うことができず、自分が経験したことがない部活動を担当する教員もいる。それは、大きな負担になっていることがアンケート結果からも明らかになった。

**Q：部活動が地域移行していくと、教員の負担は軽減されていくのか。**

A：アンケート結果から、教員も家族と過ごす時間や教材研究する時間が必要であるという回答が多数見られた。実際に、小学校で部活動をなくしたところ、「放課後の時間にゆとりができた」「早く帰宅できるようになった」といった声も聴いている。そう考えると、教員の負担は軽減されるのではないかと。市内には、部活指導に関わりたいたいという教員が40名ほどいることも湖西市の強みである。

## (3) その他の意見

- ・部活動に携わる教員の負担が、かなり大きいことが分かった。
- ・保護者の送迎が難しい場合は、市のバスを利用することができるのか知りたい。
- ・アンケート結果から、スポーツだけでなく、文化的な活動を希望している子供がかなりいることを知った。文化協会に所属している方が指導する場合には、指導者が活動場所までに行くための交通手段の確保が必要だと思う。文化協会に所属する方の高齢化も進んでいるのが現状である。
- ・中体連は、本年度から地域クラブの参加を認めている。今後もその方向で拡大していくと思われる。今後の中体連がどうなっていくのかについて、注視している。
- ・少子化が進み、学級数が減り、教員の配置が少なくなることで部活動が維持できないことが起こっている。また、教員を希望する人が少なくなっている。これは、部活動を含めて教員の労働時間の問題がある。教員不足という深刻な問題からも部活動の見直しは必要な時期に来ていると感じている。
- ・湖西市はジュニアスポーツという制度ができている。これを有効に活用して、地域移行を進めていくのが現実的であると思う。できるところから、進めていくことが湖西市にとってふさわしいのではないかと。
- ・個人の習い事は、これまで通りとして、学校の部活動で行っている種目について地域移行、地域連携を進めていくことを目指すことが現実的であると思う。
- ・ジュニアスポーツは現在、8種目ある。学校部活動のすべての種目があるわけではないので、種目を増やして子供たちの受け皿を増やしていくことが望ましい。